

TERROIRS DE BOURGOGNE

ROMANÉE
CONTI

A.O.C.

ROMANÉE-CONTI, RICHEBOURG,
LA GRANDE RUE, LA ROMANÉE,
LA TÂCHE, ROMANÉE-SAINT-VIVANT.
ロマネ・コンティ、リシュブール、ラ・グランド・リュ、
ラ・ロマネ、ラ・ターシュ、ロマネ・サン・ヴィヴァン



AOCインフォメーション

アペラシオン・グラン・クリュ/Appellations Grand Cru

生産地域:Côte de Nuits

生産コミュニティ:Vosne-Romanée

ラベルには、それぞれのアペラシオン名の下に同じ大きさの文字でGRAND CRUと記載しなければならない。

ワインの特徴

これらの赤のグラン・クリュは長熟タイプで、通常少なくとも10年は寝かせる。20年から30年に及ぶこともある。それぞれがヴィンテージや熟成による変化にもとづいたはっきりした個性をもつ。これらの華やかな赤ワインはブルゴーニュのPinot Noirの繊細さ、複雑さを余すところなく表現している。濃いルビー色は年とともに、真紅に変化する。口に含むと力強くはっきりとしたボディ、デリケートで官能的、ストレートで複雑である。

ソムリエのおすすめ

赤:力強いストラクチャーと類稀な長熟タイプであることのほかに、この偉大なワインはトリュフ、森の下草、なめし草、毛皮などの力強い第三のアロマを広げる。当然のことながら味の強い肉、ジビエ(蒸し煮、ソースまたはシンプルに網焼き)がよいパートナーとなる。また仔牛のローストやうずらのたたき湯葉巻きも、すばらしいPinot Noirのしっかりしたエレガントなタンニンにくるまれる。

サービス温度:15~16℃

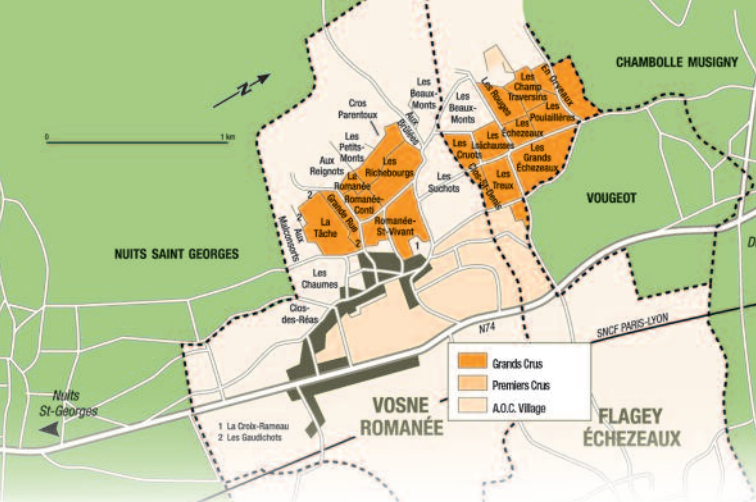


BOURGOGNES

L'âme des vins de la Terre

(シートNo.62)

www.bourgogne-wines.jp



位置

Échezeaux (Flagey-Échezeaux)とNuits-Saint-Georgesに挟まれたVosne-RomanéeはCôte de Nuits地区の真ん中を占めている。畑は標高250~310mにあり、東と南東向きである。ブルゴーニュの首飾りの「真ん中の真珠」にあたる、Vosne-Romanéeはエースを4つ集めるだけでは満足せず、世界的な名声のグラン・クリュを6つも抱えている。ヴェルジのサン・ヴィヴァンの修道士(クリュニー派)とシトー派の修道士が、1000年も前に、この類稀なterroirsを発展させた。コンティ公は自らの名を畑の一つに与え(1760年)、以来畑とずっとともにある。Romanée-Contiは世界最良の畑の一つである(常にモノポール)。その隣のRomanée-Saint-Vivantは、高台にあり、現在修復中のサン・ヴィヴァン修道院の名がついている。ヴォヌ・ロマネにある醸造所からここまで専用の小道がある。La Romanée, La Tâche, La Grande Rueいずれもモノポールである。最後にRichebourgはこの名前だけで(金持ちの街の意)グラスを一杯にできる。

TERROIRS

Romanée-Contiは粘土質が多い褐色の石灰岩の表土(60cm)の上にある。隣のRomanée Saint-Vivantも同じ土壌だが、より深い(90cm)。斜面の上部は傾斜がきつく(12%)粘土質は少なくなる。La TâcheとLa Grande Rueは上部では褐色の石灰岩の浅い表土で、下部ではより深くなる(レンジヌ)。リシュブールの斜面も同様である。土台はPremeauxの硬い石灰岩。地質は1億7500年前のジュラ紀である。

色/セパージュ

赤ワインのみ:Pinot Noir

生産量

栽培面積*

1 hectare(ha) = 10 000m² = 24 ouvrées

ROMANÉE-CONTI:	1.76 ha
LA ROMANÉE:	0.84 ha
ROMANÉE-SAINT-VIVANT:	8.45 ha
RICHEBOURG:	7.89 ha
LA TÂCHE:	5.08 ha
LA GRANDE RUE:	1.65 ha

年間平均収穫量**:

1 hectolitre (hl) = 100 litres = 133 本

40 hl	(5 320 本)
30 hl	(3 990 本)
278 hl	(36 974 本)
250 hl	(33 250 本)
149 hl	(19 817 本)
48 hl	(6 384 本)

* 2010年 ** 2006~2010年の5年間の平均